

# 伊豆日新報

令和3年（2021年）11月16日（火曜日）



渡辺専務（左）＝三島市役所  
プラチナ大賞受賞を報告する

プラチナ大賞

## GW三島が優秀賞

水辺再生、梅花藻復活など評価

三島市のNPO法人  
グラウンドワーク三島

（GW三島）が、地域  
課題の解決に取り組む  
団体、自治体を対象と  
した第9回プラチナ大

賞・優秀賞を初受賞し  
た。源兵衛川など環境  
資源の再生、創出が評  
価された。

同大賞は自治体首長  
や企業経営者らでつく  
るプラチナ構想ネット  
ワーク（東京都）の主  
催で、今回、県内から  
は大賞に次ぐ優秀賞に  
2組が選ばれた。

伊豆地区で唯一の受  
博専務は「環境資源を

賞となったGW三島

は、源兵衛川をモデル

が乱舞し子どもが遊べ

る清流にした水辺再  
生、環境のバロメータ

となる三島梅花藻の復  
活、絶滅危惧種である

ホトケドジョウやゲン  
ジボタルの生息拡大、  
松毛川河畔林の森づく  
りなどを住民と一緒に  
なつて進めている。

15日には、GW三島  
のスタッフらが三島市  
役所を訪れ、豊岡市  
長に受賞を報告し

た。GW三島の渡辺豊

整備し地域資源にする  
ことで三島市の発展に  
役立てたい」と述べた。  
豊岡市長は「環境先  
進都市である三島市  
で、グラウンドワーク  
三島が活動しているこ  
とを広くアピールした  
い」とたたえた。